

汐風通信

ちょうふうつうしん

Number 24
2005

関西福祉大学 コミュニティ情報誌

ひょうご大学生フォーラム
2050
新任教員紹介
汐桜祭
平成16年度就職状況・国家試験結果



新入生歓迎祭「汐桜祭」。関西福祉大学に今年も新しい仲間が加わりました。（詳しくはP5）



CONTENTS

ひょうご大学生フォーラム2050	P 1
平成16年度 卒業式	P 2
平成17年度 入学式	P 3
新任教員紹介	P 3
大講義棟・新研究棟 竣工	P 4
汐桜祭	P 5
平成17年度 学年暦	P 6
禁煙運動の現況	P 6
第3回 しおかぜコンサート	P 7
インターンシップ	P 7
平成16年度 就職状況	P 8
学生紹介「うちの学生こんな学生!？」	P 8
平成16年度 国家試験結果	P 8
個人情報保護法についてのお知らせ	P 9
看護学部の新設	P 9
図書館新システム	P 9
関西福祉大学 ひとくちメモ	P 9
平成18年度 入試情報	P 10
編集後記	

ひょうご大学生フォーラム 2050

3月11日(金)、兵庫県公館で、『ひょうご大学生フォーラム2050』活動発表会が開催されました。同フォーラムは兵庫県が人口減少社会をテーマに、これからの兵庫づくりに若者の視点を生かしていくことを目的に、2004年5月からの1年間、県内の大学生によびかけ主催しました。



報告会は、一般参加者80名も参加して行なわれ、最後に、知事からこれからの

発表の概要

兵庫県を担う若者たちへ激励をこめたコメントをいただきました。

この活動には、関西福祉大学をはじめ、兵庫県立大学、関西学院大学、神戸市外国語大学、兵庫大学の学生28名が参加しました。「2050年の兵庫県を考えよう!」を統一テーマに、学生たちが自ら地域を考え、高齢者の生きがい、家族の姿、多文化との共生、21世紀の農村についてグループごとに、積極的に現地調査や討議を重ねました。

関西福祉大学 参加者

高木 渉 / 卒業香川県 丸亀城西高等学校出身
池内 美緒 / 4年(香川県 尽誠学園高等学校出身)
壺阪 千尋 / 3年(兵庫県 姫路東高等学校出身)
狭間 博基 / 3年(兵庫県 高砂南高等学校出身)
西村 知恵 / 4年(兵庫県 山崎高等学校出身)

ン委員やアドバイザーが加わりました。本学から参加し、「のび太とひょうごの未来 チーム」の発表者を務めました。

活動報告会では、ポスターセッションとして、会場内にフォーラム成果を張り出し、参加者相互の意見交換を行なった後、5グループにより、プレゼンテーションが行われました。その後の学生を中心としたフリーディスカッションには県知事をはじめ、長期ビジョ



大学生フォーラム2050に参加しはじめた頃は、2050年のことなど想像もつきませんでした。「2050年という区切りの年はどういう状態になっているのだろうか?」というテーマから、家族、農村、介護問題、就業 コミュニケーションなどいくつかのジャンルに分かれて、グループ活動を行いました。僕は、農村のグループに所属し、発表の内容も「大農村」という言葉の提唱でした。そして、「大都市」という言葉があるのに「大農村」がないのはなぜか? という問題提起のもとに、「大農村計画化」について発表しました。プレゼンテーションでは県知事の前で発表するなど、心臓が口から飛び出しそうなくらい緊張しましたが、無事に発表を終えることができた本当によかったです。また、1年を通じ、調査では、有職者ヒアリングも実施しました。地域の方とじかに触れ合う機会が多くあり、「地域福祉」の重要性を再認識でき、大学での学習の理解が深められた気がします。

狭間 博基

人と人のつながりを考える

「2050年の農村はどんなところだろう?」
住む人の笑顔があふれ、自然豊かで訪れる人を癒してくれるそんな農村の素敵なところを残した21世紀の新しい農村を「大農村」として提案する。

外国人労働者との共生について

外国人労働者の側面から介護労働者の側面から
あはるたチーム
一人暮らしの高齢者が増加し、10人に1人が要介護になる2050年。少子化は深刻な労働力不足をもたらしている。そのような中で、介護分野で不足すると言われる労働力を外国人労働者が担うことよって生じる課題と対応策について考える。

生きがいと雇用と高齢者

元気な高齢者の増加は、生涯現役の社会をもたらす。生きがいを求め様々な活動に取り組み高齢者は現在よりも多彩な生活を過ごすことができるのではないだろうか。これまで、生産年齢人口などで画的に論じがちだった高齢者の姿を新たな角度からとらえ直す。

新しい家族のかたちを求めて

世帯当たりの人員は減少を続け、2050年の平均世帯人員は2.2人と家族の規模が小さくなるしていく。そうした中で、血縁や婚姻を前提とした家族から、新たな家族へと多様化していく家族像について考える。

各世代をどうつないでいくか

人と人のつながりが希薄になったと言われる中で、私たちはどのようにつながっていくべきだろうか。豊かなコミュニティのもとで人々の暮らしが営まれていた江戸時代と現在を比較しながら、つながりに焦点をあてて。

平成16年度

卒業式

3月23日(水)、赤穂市文化会館(ハートホール)において平成16年度卒業式が挙行され、本学第5期生241名が卒業証書学位記を授与されました。式典では、豆田赤穂市長をはじめ、皆様からのご祝辞をいただいた後、卒業生代表 山下華代さん(兵庫県/明石高等学校出身)が謝辞を述べました。また、今年度、理事長賞として華道部・吹奏楽部の2団体、また八つ波賞として手話サークルが表彰され、個人表彰として、学長賞成績最優秀賞 山下華代さん、優秀賞 高部 純代さん(岡山県/倉敷古城池高等学校出身)・宮本 幹子さん(兵庫県/高砂南高等学校出身)、特別賞 枝川 哲也さん(兵庫県/赤穂高等学校出身)に、それぞれ表彰状と副賞の記念時計が贈られました。



平成17年度

入学式

4月になって肌寒い日が続く中、4月5日(火)、第9回入学式が赤穂市文化会館(ハートホール)にて行なわれ、366名が本学への入学許可を受けました。入学生代表として、土遠 晋介さん(兵庫県/赤穂高等学校出身)が宣誓を行い、大学生活への希望と決意を述べました。式典会場の外では先輩達が初々しい新入生へ歓迎のエールを送りました。





大講義棟・新研究棟 竣工

本学では、平成9年の開学以来、充実した教育環境の整備にむけ、増築工事を進めてきました。ここ数年の順調な志願者の増加傾向により、入学定員を250名に増員し大幅な入学者増を受け、3月15日、新たに大講義棟を竣工しました。

大講義棟1階は、4つのゼミ室のほか、ガラス張りの明るくゆったりとしたスペースに、パソコン対応ができる机8台などを配した学生ホールを併設しています。ホールには、教育後援会より寄贈されたモリゾ作「ベンチで縫い物をする女」の複製陶板がかけられ、暖かく優しい印象画が福祉大学らしさを感じさせてくれます。また、校友会・同窓会からは大画面の50インチプラズ



マテレビが贈られ、学生たちの新しい憩いの場として大いに利用されています。2階、3階は、机やイスが使いやすい、斬新なデザインを取り入れた階段式の講義室で、授業等に活用できる最新のAV機器等も完備しています。また、屋根付きの渡り廊下で結ばれた研究棟は、既存の研究棟に隣接して、研究室が8室とゼミ授業のための演習室が4室設置されました。今後、本学では来年の



看護学部開設をひかえ、看護学部棟の建設等、学生がより学びやすい環境を整えるため、設備の充実がはかれる予定です。

プロフィール: 日本福祉大学大学院社会学研究科福祉マネジメント専攻修士課程修了。佐藤医療福祉専門学校講師を経て現職。

主要著書論文:「不登校問題とスクールソーシャルワーク」(修士論文)



助手
工藤 歩
(くどう あゆむ)

この4月から九州の福岡から赤穂の地へ移ってきました。今回は初めての大学勤務ということで少々プレッシャーも感じてはいますが、学生のために何が出来るかを考えながら、精一杯がんばって行こうと考えています。関西の地での生活は初めてですが、色々楽しみたいと思っておりますので、アドバイスをいただければと思います。

専門は児童福祉、特に不登校問題に関するサポート法についてですが、現在はそれだけでなく福祉教育などさまざまな分野にも関心を抱いています。どうぞよろしくお願ひいたします。

プロフィール: 上智大学大学院社会学専攻博士前期課程修了。東海大学、立正大学、宇都フロンティア大学を経て現職。

主要著書論文:「実習を学ぶ・実習から学ぶ 実習事例による対人援助の学び」(共著)

担当科目: 社会福祉援助技術現場実習



講師
井上 浩
(いのうえ ひろし)

この4月から関西福祉大学に勤めることになりました。実習教育を専門に、障害者福祉をライフワークとして研究しております。実習教育は実践と理論との架け橋です。大学の教育は机上の空論となつてはいけませんし、理論もなく実践だけできつぱいということもありません。実習が楽しい経験となれば一番ですが、たとえ実習が辛くとも、その実習から学んだことが学生諸君にとって将来の道しるべとなるよう、教育に取り組んでいきたいと考えております。

プロフィール: 立正大学大学院社会学研究科福祉マネジメント専攻修士課程修了。知的障害者更生施設副施設長を経て現職。

主要著書論文:「人間福祉の基礎研究」(単著)



助手
中村 剛
(なかむら たけし)

この4月から関西福祉大学に勤務しています。埼玉県から引越してきましたが、関西で暮らすのは初めての経験です。

これまで、主に知的障害者施設に約20年勤務してきました。これまでの経験を活かし、「現場で必要とされること、役に立つこと」といった観点から、教育のお手伝いをしていきたいと考えています。

プロフィール: 岡山大学教育学部卒業、同大学院教育学研究科修了。兵庫教育大学連合大学院博士課程単位取得満期退学。岡山大学法・経済学部第二部非常勤(教育学概説、教授原論)を経て現職。

主要著書論文:論文「ベスタロッターにおける sehende Liebe 概念」(『人間教育の探究』第13号)ほか

担当科目: 教育原理 教師論



講師
光田 尚美
(みつだ なおみ)

この4月から関西福祉大学に勤めることになりました。岡山県備前市から通っています。

学生時代は教育哲学・思想(どわけ近代ヨーロッパの教育思想)を専攻し、ベスタロッターというスイスの教育家の思想や実践について学びました。スイスの研究所や図書館にも足を運び、埃をかぶった古い文献を相手に格闘してきました。

関西福祉大学では、教育原理をはじめ教職必修科目を担当します。教育の混迷が叫ばれる昨今、のんびり思想研究をしている余裕はないのかも知れませんが、豊かな思想との対話によって自分自身の思考を深め、教育者としての信念をじっくりと形成することが養成課程段階には必要であると思います。講義を通して、学生さんたちに思想の面白さや意義を伝えていきたいです。

新任教員紹介

プロフィール: 神戸女子大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了。同大学院博士後期課程単位取得修了。現在、同大学院博士後期課程再入学在学中。愛知みずほ大学講師を経て現職。

主要著書論文:「播州織「女工」疎外史」(単著)「写真にみる介護実践『人間らしく生きたい』」(単著)「福祉訪いの人々」(単著)

担当科目: 福祉科教育法



助教授
岩本 真佐子
(いわもと まさこ)

“常に目標を持ちチャレンジする”をモットーにしていまが、今年、4月に本学に赴任し、演習・コミュニティワー(赤穂市調査)を担当するのを機に、里親支援型を柱とするNPO法人を立ち上げることにしました。まだ第一歩を踏み出したばかりで頼りない限りですが、学生とも燃えています。

また、里親への委託児の多くが、被虐待児なので、心理学的知識や実践を学びたいと、大学院に再入学しました。片方では教員として指導し、他方では学生として学ぶ毎日の生活は忙しいですが、充実し、張り切っています。

プロフィール: 岡山大学教育学部卒業、同大学院教育学研究科修了。倉敷教育大学連合大学院博士課程単位取得満期退学。岡山大学法・経済学部第二部非常勤(教育学概説、教授原論)を経て現職。

主要著書論文:「テレビ視聴時間の長短が幼児の生活習慣に及ぼす影響」(小児保健研究63(5), 2004.)

担当科目: 基礎技能(体育)レクリエーションワーク



助教授
服部 伸一
(はっとり しんいち)

この4月から再び関西福祉大学に勤務しています。授業は「具体的に、わかりやすく」を心がけています。現在の主な研究テーマは、「乳幼児のメディア接触とその背景要因に関する研究」、「乳幼児の睡眠覚醒リズムに関する研究」などです。

ふだんの生活では、自戒をこめて「ゆっくりと一歩」をモットーにしています。人生を豊かにするものは、「友人、旅、読書」です。学生の皆さんはあまり小さくまとまらずに、青春を謳歌してほしいと願っています。どうぞよろしくお願ひします。

プロフィール: 大阪大学大学院医学研究科修了。大阪大学短期大学部教授、大阪大学健康福祉学部教授を経て現職。精神保健指定医、医学博士(大阪大学)。

主要著書論文:「精神保健学(第4版)」(単著)「食養手当て法(第3版)」(単著)

担当科目: 精神医学、精神保健学



教授
鈴木 英鷹
(すずき ひでお)

教育の目的 世の為人の為に役に立つ人を作ること 人生に希望を持たせること(「不思議な記録」より)
この4月から関西福祉大学に赴任いたしました。豊中から中国道、山陽道で通勤しています。私は精神科医の傍ら東洋哲学、東洋医学に興味を持つようになりました。東洋医学の根本原理は陰陽です。この世の中に生きている人間七同じく、陰(こころ)と陽(からだ)でできています。さらに考えると陰陽という二に分かれる前は一であり、この一を大極、無限、神といえます。一日は夜の0時から始まるように、この世の中は陰の世界から始まり、陰(こころ)が先で陽(からだ)が後であることが解ります。「こころ通ひのからだ」といのが如く、精神の状態が肉体に反映することは、夫婦の仲が悪いと子供が頻回の原因不明の発熱をすることが挙げられます。これなどは夫婦の間で心の摩擦があると、木が燃えて火が生まれるが如く、子供が発熱をきたし、夫婦が仲直りすると発熱するといものです。このように親子、夫婦、他人と仲良く丸く治めるのが大切で、人間の顔、目、耳、鼻の穴、口いれも丸く創られています。「親孝行できる人は何でもできます」は正に至言であり、世の為人の為に教育が必要で、人間は陰(こころ)と陽(からだ)からできている訳ですから、健全な子供の発達に対し陰の立場から、宗教宗派に捉われない道徳教育が必要です。また陽の立場から見ると、「食とは人を良くすると書く」が如く東洋医学では食育の重要性を指摘しています。昔、「まろやかな」人となるように和氣清麻呂のように前に麻呂が入っていました。まろやかな人材を作るために寄りたいのです。どうぞよろしくお願ひいたします。

プロフィール: 明治学院大学文学部社会学専攻卒業。岡山県職員、児童相談所児童福祉司、津山児童相談所長、岡山県総合社会福祉センター相談部長、瀬戸内学長、順正短期大学教授を経て現職。

主要著書論文:「対人援助の理論と実際」(共著)「社会福祉要論」(共著)「児童福祉要論」(共著)「実践、子ども家庭福祉論」(共著)

担当科目: 養護原理、社会福祉援助技術



教授
赤木 正典
(あかぎ まさのり)

関西福祉大学に赴任し、2ヶ月が経ちました。毎朝、赤穂線に乗って山海・平野の季節の移りいを感じながら通勤しています。大学では、学生たちが将来福祉を志すだけあって、授業に明るく真摯に取り組んでくれるので、「こんな好青年たちに充分応えなければ」と自分自身を鼓舞しています。

社会福祉は実践思考的な専門職業です。学校で学ぶことは無論ですが、暇な時には専門雑誌や新聞、文学書等も読んでみて下さい。社会の背景を知ったり、人間の生きざまや心を知ることは大事なことだと思いますよ。青春は一度です。

プロフィール: 立正大学文学部卒業、同大学院文学研究科修士課程修了(文学修士)。昭和博士より学位授与<博士(医学)>(論文博士)。立正大学大学院文学研究科教授D(合)。昭和48年度・平成6年度英国留学。東京福祉大学大学院客員教授、厚生労働省他審議検討委員等。

主要著書論文:「介護保険の課題と展望」(監修・共著)「社会福祉概論」(責任編集<最新介護福祉全書1巻>改訂版)「人間行動理論とソーシャルワーク」(監訳書)

担当科目: 社会福祉原論(概論)



教授
三友 雅夫
(みつとも さあお)

私は、好奇心旺盛、何に対してもチャレンジ精神で努力する典型的なO型、お人好、お節介です。後悔することも多いのですが、生まれつきの性分なのでまあいいかと考えています。

私の学生時代は、1日1冊(新書版くらいの本)読破を目標として読書をしました。ヤルと決めたらヤル=結構、意志力はあると自認しています。そして、「人を生かすこと」。知性・感性豊かな人となれるよう今も努力しています。学生の皆さん、これからの学生生活をともに有意義なものにしましょう。

プロフィール: 精神保健福祉センター、児童相談所、精神・神経科病院、知的障害者・身体障害者更生相談所、女性相談所、情緒障害児短期治療施設、身体障害者訓練施設、児童養護施設などを現職。

主な著書:「皆さんしあわせですか-障害児とその家族の幸せを求めて-」(単著)「楽しく思春期とつきあう-つまずきやゆきづまりに悩む子どもたちへの理解とかわり方-」(単著)「子どもの心のメッセージ-幼児・児童期の子どもたちの理解とかわり方-」(単著)

担当科目: 心理検査法



教授
坂本 英夫
(さかもと ひでお)

福祉職場に長く勤めておりましたので、「福祉を目指す皆さん方の何かお役に立てればいいな」と思っています。人とかわかる仕事をしていると、相手の表情や服装や態度などから「あれ、今日は...」と感じる感性、相手のいろいろな気持などを自分も深く感じられる感性が大切なことだったりしています。(なかなかできないけれど...)

赤穂は海や山など自然の豊かなところだと感じています。この美しい環境の中で、皆さんとともに学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



マジ『本気?!ハンパねえ! 超・OH・祭に恋』

汐桜祭

今年度、新しく仲間入りをした学生は366名。開学以来、最多入学生となりました。汐桜祭実行委員会では例年以上にパワーアップして、汐桜祭を盛り上げました。



吹奏楽部のファンファーレに迎えられる始まった汐桜祭のステージは、まず「Enjoy!!」ゼミ「GO!!」。ゼミごとにゲームを楽しみながら、交流を深めました。そして、恒例のサークル紹介「さあ、来る?サークル系!!」では、今年も先輩たちの新入生勧誘台戦が繰り広げられました。



また、本学の最寄り駅、JR播州赤穂駅に発着する、通称「かぼちゃ電車」を模した資料局手作りのプラネタリウム登場。電車のなかには、星にみたくて新入生たちの抱負をつづったカードが飾られました。



この日、新入生には、関福汐査、赤穂マップなどが掲載されたパンフレットが配付され、模擬店ではうどん、わたがしなどがふるまわれました。フェスティバルの最後には、くじ引きで景品を獲得したラッキーな新入生も!

そのほか、ボランティア体験の報告をした展示など盛りだくさんの企画で、会場となった円形広場は普段と違ったにぎわいを見せました。



禁煙運動の現況

昨年秋に募集を行なった『禁煙標語・川柳コンテスト』には、74名の応募者の方から159作品が寄せられ、本学禁煙推進運動への関心の高さをうかがい知ることができました。そして、その全作品について学内投票を行ない、支持の多かった作品は次のとおりです。

関西福祉大学賞

まず一本 吸わずにしまおう その勇氣

(岡田 みすえ/3年 岡山県 精研高等学校出身)

学長賞

その煙 あなたの評価を くもらせる

(村上 昌代/4年 愛媛県 新居浜西高等学校出身)

事務局長賞

あたし嫌やつ たばこ吸ってる あなたの姿

(山本 るみ/卒業生 三重県 皇學館高等学校出身)

禁煙プロジェクト賞

煙草吸う みんなのこころ けむりソウ(煙草)

(中岡 威/3年 兵庫県 明石西高等学校出身)

保健室賞

副流煙 まわりの人は 大迷惑!

(衣笠 友博/2年 兵庫県 福崎高等学校出身)

学生委員長賞

気付いてよ 眉をひそめた 周りの目

(西海 彩/2年 兵庫県 明石北高等学校出身)

学友会長特別賞

友達を あつく守ろう たばこから

(吉田 康人/3年 兵庫県 明石清水高等学校出身)

現在、本学では敷地内全面禁煙にむけてさまざまな取り組みを行なっています。受動喫煙による健康への悪影響の排除と、学生の健康増進の観点から、禁煙講演会やニコチンパッチの配付、環境クリーンアップ強化週間の実施など、今後も禁煙運動を推進していきます。

第3回 しおかぜコンサート

今年も大成功!

吹奏楽部OBと部員が連携で企画、運営している関西福祉大学吹奏楽部 定期演奏会『しおかぜコンサート』は、第3回目となりました。毎年、市民の方々が多数来場され、バラエティに富んだステージが好評です。2月27日(日)、赤穂市文化会館(ハーモニーホール)へ足を運んだ来場者数は、約1150名。満員の聴衆を前に、演奏内容には、組曲『惑星』より「木星」、吹奏楽のための「風之舞」、「ジュピター」等、親しみやすいヒットパレードなどの曲目を織り交ぜ、曲編成にも工夫をこらしました。

今年も、宣伝活動を岡山県日生町、備前市にも広げ、地域に根づいた活動の幅をより拡大しました。「部員が自分たちで歩き、戸々を訪問することで地域の方々からの励ましを実感できた」との感想が寄せられています。

部員たちは、技術向上だけではなく、部ならではの連帯感またコンサート開催のために自分たちの手で努力し、作り上げていく達成感を部活動から学んでおり、課外活動における貴重な体験を積み上げていくようです。来年の開催にもむづいご期待!

平成17年度 学年暦

7月	22日(金) 23日(土) 25日(月)~8月6日(土)	前期授業終了 オープンキャンパス 前期定期試験
8月	8日(月)~9月11日(日) 27日(土)	夏期休暇 オープンキャンパス
9月	12日(月)~21日(水) 22日(木) 29日(水)~30日(金)	集中講義期間 追試験 後期オリエンテーション
10月	1日(土) 28日(金)~30日(日)	後期授業開始 大学祭
11月		
12月	14日(水) 26日(月) 27日(火)~1月5日(木)	赤穂義士祭 冬期休暇前授業終了 冬期休暇
1月	6日(金) 30日(月) 31日(火)~2月10日(金)	授業再開 後期授業終了 後期定期試験
2月	13日(月)~23日(木) 24日(金) 27日(月)~3月29日(水)	集中講義期間 追試験 春期休暇
3月	23日(木) 30日(木)~31日(金)	卒業式 2006年度前期 在学生オリエンテーション

赤穂市インターンシップ

アルバイトとは一味違う?!

インターンシップでの取り組み

平成17年2月下旬から3月上旬にかけて、赤穂市インターンシップが実施されました。

今年は、昨年5日間だった実習期間が10日間に延長され、あらたな受入れ先にご協力をいただいたの実施となりました。また内容も、市議会傍聴等のプログラムが追加され、年々充実したものとなっております。公務員を志す者、赤穂市(市政)に興味がある者、広く働くこと(社会人)について考えてみたい者、さまざまな動機をもつ参加学生たちですが、それぞれが将来を見据える上で、貴重な体験ができたようです。

インターンシップ……学生が在学中に企業などで一定期間自らの専攻、将来希望する職業等に関連した就業体験を行う教育制度

平成16年度インターンシップ参加学生

大野 昌美 / 4年(鳥根県 明誠高等学校出身)……赤穂市役所観光商工課
 習田 裕子 / 4年(兵庫県 東播磨高等学校出身)……赤穂市役所生涯学習課
 常田 優佳里 / 4年(福井県 美方高等学校出身)……知的障害者援護施設さくら園
 吉田 ひとみ / 4年(兵庫県 赤穂高等学校出身)……赤穂市役所秘書広報課
 参加学生感想

- 市政に対する意識を深めることができた。
- コミュニケーションの難しさと大切さ、信頼関係構築の重要性を痛感した。

平成16年度就職状況

開学以来5期最高の

98.6%就職率を達成!!

第5期生の就職希望者に対する就職率は98.6%の好結果となり、5期連続して100%に近い就職率を達成しました。

これは、学生がしっかりとした目標を持ち、大学での学習や実践を通して職業観や社会性を養い、自信をもって就職活動に取り組んだ成果です。また、卒業生の勤務先事業所からも多くの求人が寄せられ、活躍する先輩たちの社会的評価の高まりが後輩の就職支援につながっています。現在、新4年次生が就職戦線に突入し、自分の夢を実現すべく、企業等の採用試験にチャレンジしています。また、3年次生も就職活動の準備を開始しています。

本学では、学生一人ひとりの夢を実現できるよう、全学体制で学生の就職支援に取り組んでいます。

平成16年度卒業生(第5期生)就職状況 (平成17年3月31日現在)

区分	男性	女性	合計	%
A. 卒業生数 (進学者を除く)	96	140	236名	
B. 就職希望者数	86	125	211名	87.6%
C. 就職者数	84	124	208名	98.6%(C/B) 88.1%(C/A)

平成16年度 国家試験結果

平成16年度 国家試験合格者は、次のとおりでした。

社会福祉士 104名 (うち平成16年度卒業生 72名)
 精神保健福祉士 26名 (うち平成16年度卒業生 22名)

本学学生は、国家試験に合格できる資質を備えています。学生の潜在能力を最大限に引き出す支援施策、サポート体制を整備し、平成17年度もより多くの社会福祉士、精神保健福祉士を社会に送り出せるよう、学生とともに励んでいます。

平成17年度国家試験対策講座スケジュール

- 6月 国家試験対策導入講座
- 10月~11月 国家試験ポイント講座
- 12月 国家試験対策直前講座

その他、模擬試験を計6回実施する予定です。

講座内容、開催時期は変更となる場合があります。

Interview

ここの学生みんな学生!?

No.103 草加 法子さんの友達からスタート!!

No.104



友達の三谷さんは? 「私をいつも笑わせてくれるぶつとんだ後輩です」

みたに ゆうすけ
三谷 優介 / 3年
(兵庫県 明石北高等学校出身)

「トライやるウィーク(中学生の体験活動)で、特別養護老人ホームに行ったことをきっかけに、福祉に興味をもちました。高校の進路指導の先生にすすめられ、本学に入学したそうです。将来の夢は高校教師。これからの高校生たちに福祉の重要性や楽しさを教えたいと話す三谷さんですが、3年次生になり専門授業に苦戦中...。(がんばれ!)勉強以外に力を入れていることはバレーボールです。現在、男子バレー部のセッターとして活躍しています。週2回の練習は、仲間とともにスポーツを楽しみ、友情を深めているそうです。また、昨年は、大学祭実行委員会の地域福祉局長として大学の一大イベントを企画、実行!始めは大変で、気が重くなることもあったそうですが、「最後には学生全員で盛り上がることができ、よい思い出になりました」とのこと。笑顔が素敵な三谷さんは、今、彼女募集中です!!(^^)

No.105



友達の小林さんは? 「妹みたいなかわいい後輩です」

こばやし ひろこ
小林 紘子 / 2年
(兵庫県 赤穂高等学校出身)

「小学生の弟がいます」と話す小林さん。「年が離れた弟さんはかわいい?」の質問に「生意気ですよ!!」と笑顔で答えてくれました。岡山の施設で障害をもつ子供たちに出会い、その子供たちがハンディキャップに負けず、明るく元気に育っているのを見て勇気づけられ、福祉への関心が高まったそうです。2年次生になり、児童福祉コースを選択。毎日の授業はかなりハードスケジュールですが、「授業内容が充実して楽しく、自分の興味があることを学ぶことができます。休むなんて考えられない」そうです。将来は、保育士をめざしています。子供が大好きな小林さんは、卒業までの3年間、勉強はもちろん学生生活を満喫して、経験豊富な保育士として社会にでたいと話してくれました。

No.106



友達の川内さんは? 「優しくて頼れるお兄ちゃんです」

かわうち やすひろ
川内 康寛 / 3年
(大阪府 大阪学芸高等学校出身)

川内君の服のセンスは個性的。「人と同じ格好が好きではない...」のだそうです。大学ではロック研究会部長です。週3回の練習には音楽好きな人が集まり、汐風祭時にそれぞれのバンドで演奏を披露しています。彼のバンドは、ボーカル&ギター担当の川内君を始め、メンバーが4人で、明るく面白い仲間と、月に1・2回のペースで姫路や岡山のライブハウスにも出演し、自分たちで作詞・作曲した作品(基本的にコピーはしない)を演奏させてもらっています。そして、次に打ち込んでいる(?)のはアルバイト。土・日は養護老人ホームで、平日の夜には飲食店で精力的に働いています。ホームでのアルバイトには、大学での福祉の勉強が役立っているとか、痴呆症のお年寄りの方も、音楽の話をすると一緒に歌を歌いはじめ、大変喜ばれるのだそうです。彼にとって本学は第一志望ではなかったのですが、「入学して間違いはなかった」とあらためて確信しています。将来は、福祉と音楽を結びつけた仕事に就きたいと考え、これから始まる就職活動にむけて、やる気十分です。「希望の仕事に就けるまで、何社でも受けて受けて受けまくります」と頼もしい川内君でした。

No.107



友達の小橋さんは? 「明るくてノリのいい活発な女の子です」

こばし くみこ
小橋 久美子 / 2年
(岡山県 玉野高等学校出身)

入学前、本学のオープンキャンパスに友達と参加しました。実際に、大学に来て・見て・感じて(オープンキャンパス2005キャッチコピーです)パンフレット等ではわからなかった内容が体験でき、優しい先輩たちに出会えたそうです。また、『福祉』と『保育』という自分が学びたかった二つの科目が選択できること、卒業後に資格取得が可能なのも魅力でした。大学に入学後、大学祭実行委員会に入り「自分もオープンキャンパスで大学を好きになったので、後輩になるかもしれない高校生の方にも本学の良さをアピールしていきたい」と抱負を語ってくれました。スポーツが好きなお橋さんは、小・中・高とバレーボール部に所属していましたが、大学では違うスポーツも味わいたいとの気持ちからフットサル部に入部しました。始めはマネージャーとして仕事をこなし、見ているだけでしたが、今では男子部員と一緒に練習に参加しています!大会には参加できないのですが、「女子も結構活躍しています。スポーツはやっぱり気持ちよいです」とのこと。3年次になると実習が始まり忙しくなると先輩から聞き、不安な気持ちもありますが、一緒にがんばれる友人とともに、ファイト!

Information

Open Campus 2005

オープンキャンパス2005

見て、聞いて、感じて関西福祉大学を体験するオープンキャンパス オープンキャンパスで進路を考えよう。

7/23
Sat

8/27
Sat

10:00 ~ 16:00

(進学相談会 9:00 ~ 16:00 随時受付)

- ・進学相談会 ・ミニ講演 ・心理測定教室
- ・学内見学ツアー ・学生交流コーナー
- ・講演 身体障害者補助犬との出会い etc.

10/29
Sat

10/30
Sun

10:00 ~ 16:00

進学相談会を大学祭と同時開催！
大学祭「汐風祭」を楽しみながら
キャンパスをじっくり見学！

2006年4月 『看護学部 看護学科』開設計画中

看護学部に関する進学相談会、ミニ講演、そして看護模擬体験を開催予定

事前の申込は不要です。自由にご参加ください。

お問い合わせは 関西福祉大学 広報課

Phone.0791-46-2525(代) Fax.0791-46-2526 E-mail/kusw-info@kusw.ac.jp